

2016 (H28)  
穂含月  
278  
2/26  
ヒオウギ

# 右馬允だま

## 穂含月 文月 夕 盛夏の候

皆様 如何不遇にしてお過ごしでしょうか。今朝は雨降りで寒いぐらいの朝ですが昨日から今日までの暑さは大変なもので陽が沈むのを必死に待つという毎日。涼しくなってきたから畑に草取りに行くといふ見事に草だらけをそればかり穂を含み大地にその穂を落す用意が整ったという感じで威嚇してきます。お世話になった哲さんには小平哲郎さんの農作業が素晴らしくなりました。今摘み、摘みと叫ぶブルーベリーちゃんを摘んであげていました。その畑の草が凄いのと放って置くと除草剤をかけるらるらるらるので事前に引き抜かなくてはと焦っています。今日の午後やろうと決意しています。鮎料理のコースを注文して下さるお客様が多くなりました。主人正介や子と一緒は鮎を確保すること必死です。その中で又々輝く正介の瞳を見ました。鮎のかわいた時手元に伝わり来る鮎のピクピクという引きがたまらないです。

若い頃南アルプスの霧のなかから山頂で薄日が指し、やがてゆくり消えてゆく霧の中からスーと現れたアゲハツマキ蝶を見た—！という話に聞いた時の正介さんを懐かしく思い出します。感動の場面に出合えなく、おているのか場面についてとそれを感じられなくなっているのか。感動は生きる力ですものね。笑わないように注意しよう

今年の鮎釣りの大会チーム右馬允の3人のメンバーが長男允だま4位で予選を通過し24日福中の丸頭竜川での決戦に挑みましたが江樹のミスもあり取れなく戻りました。来年また頑張りたいです。河川も無事でよかったです。

自分のお店を持ちたいと物件を探していた次男充ですがみずぎ設計の松下さんの紹介で飯田市にある蔵と出合いました。昭和22年の飯田の大火災で焼け残りその傷跡を生かした建物に復活させようとするもので興味深いものです。成り行きに注目です。

こうしておたふ里しているうちに外は本格的な雨降りになってきました。外の作業は本日中止です。お草が伸びる。恐怖です。

今日は高森の庵光寺様という神主様が来て下り8月7日の久美の結婚式の打ち合わせです。当日暑いのは大変だしこの雨は悲しいし... 楽しく有意義ないい一日とじてオの人生の良きお茶とつりますように祈ります。